

— 隨筆・その他 —

切手が語る医学 (No.234)

【偉人 アレクサンダー・フレミング①】

東区・紫南支部 古庄 弘典

アレクサンダー・フレミング (1881-1955)

イギリスの細菌学者。

抗菌物質リゾチーム (lysozyme) とアオカビ (*Penicillium notatum*) から見出した世界初の抗生物質、ペニシリンの発見者。

フレミングはペニシリンの精製には成功しなかった。

1940年フローリーとチェーンがペニシリンを精製し効果的な製剤にする方法の開発に成功した。

1945年にフレミング、フローリー、チェーンはノーベル生理学・医学賞を共同受賞した。



左上：ペニシリンの分子構造と研究するフレミングの姿

右上：アオカビ属（ペニシリニウム属）と研究室

左下：注射器と薬瓶と戦場での注射

右下：シャーレと実験するフレミングの姿。いずれにもフレミングの肖像 (1881-1955)
モザンビーク (2011年) 連刷シート (4種)